

平成24年7月12日

## 「創刊38号やっぱり月間太っ腹新聞」～今年も夏がやってきちゃったの巻～

読売センター代田橋梅丘所長&太っ腹新聞主筆 柴田 秀昭

皆さん、こんにちは。いやあたまんないっす、この蒸し暑さ。「暑〜い」イコール「やる気おきねえ〜」の私としてはこれから約3か月間、冬眠ならぬ夏眠に入りたい気分。ところで皆さんのお宅ではもうエアコンはお使いですか？我が家では昨年来の節電により、いまだ冷房使用許可は下りずでして。許可って誰の許可が必要なの？って決まってるじゃないですか我が家の総理大臣兼衆議院議長兼最高裁長官(我が家には三権分立などないのだ)女房閣下です。「暑〜い」の大合唱にもかかわらず「窓開けとけばいい風入るでしょ」の一点張り。しかも夕飯はカレーライス。食べ終わった私の額には滝の汗、それのみならず髪の毛も汗に濡れまるでシャンプーしたかのよう。まったくたまらんぜ！

話は変わりますが先日、昨年亡くなった友人の川端さんの一周忌に行ってきました。あれからもう一年、いやまだ一年、どちらも正解のような気がします。なんでも一周忌のことを、仏門では「小祥忌」と呼ぶとか(お坊さんの受け売りです)。亡くなって1年経つころには、同じ季節が巡ってくるため、喪失感がひととき強くなるそうで(たしかにそうです)、そんな時に法要をすることで大きな区切りをつけ、今後は「めでたい」方向に歩みだそうと誓うのが「小祥忌」だとか。小があれば大もあるらしく「大祥忌」は一般にいう「三回忌」。亡くなった翌々年に行うそうですからつまり来年が三回忌。一周忌から一年で三回忌。1+1が3？合点がいかない気もしますが、まあそうやって故人のために集まることがなによりの供養なのでしょう。

またまた話は変わりますが、今年の夏お出かけ予定のお宅も多いはず。ちなみに我が家はどこへもいきましょ〜ん！というのも高校生の息子がカナダへ短期留学！なに〜新聞屋の息子が留学だとお〜！最初は気乗り薄だったワタシも本人と女房殿の強い意志に負け、行かすはめに。ホームステイで3週間だそうで、こりゃあ見ものですな。英語もしゃべれない高校生がどうやってホームステイしてくるのか。きっと意地悪なホストファミリーに毎日こき使われ、満身に食事も与えられず、部屋は屋根裏部屋。あまりの辛さに、夜空を見上げてナミダがほろり・・・ハッハッハッ親のありがたみがわかったか！(これ、ワタシの想像)。一方、広い家に専用のバスルーム付き、週末はキャンピングカーでホストファミリーとお出かけ。バーベキューが美味しい！もう、カナダ最高〜！日本の狭い我が家には帰りたくな〜い！(これ、息子の想像。悪がったな、せまい我が家で！)どちらの想像が正解か、それは行ってみればわかること。ただうらやましいぜ！お土産買ってこいよ。ビーフジャーキーに、メイプルシロップに、キーホルダーに、ペナントに、木刀に・・・って昔の修学旅行だぜ。

まあ、仕方ないっす。今月のプレゼントっす。今月は、熱中症対策ということで

### 首に巻いてひんやり「ミラクルスカーフタイプ」でプレゼント

水に濡らして首に巻くだけでひんやり南極気分。何度でも使えるので便利です。先着100名様のみ。

お申込は 電話 3429-3965 (月〜土夜9時、日・祭日12時まで)

ファクス 3439-3409 メール [info@yc-shibata.co.jp](mailto:info@yc-shibata.co.jp)

先着100名様限り。お届けは7/17以降になります。では、また次回！